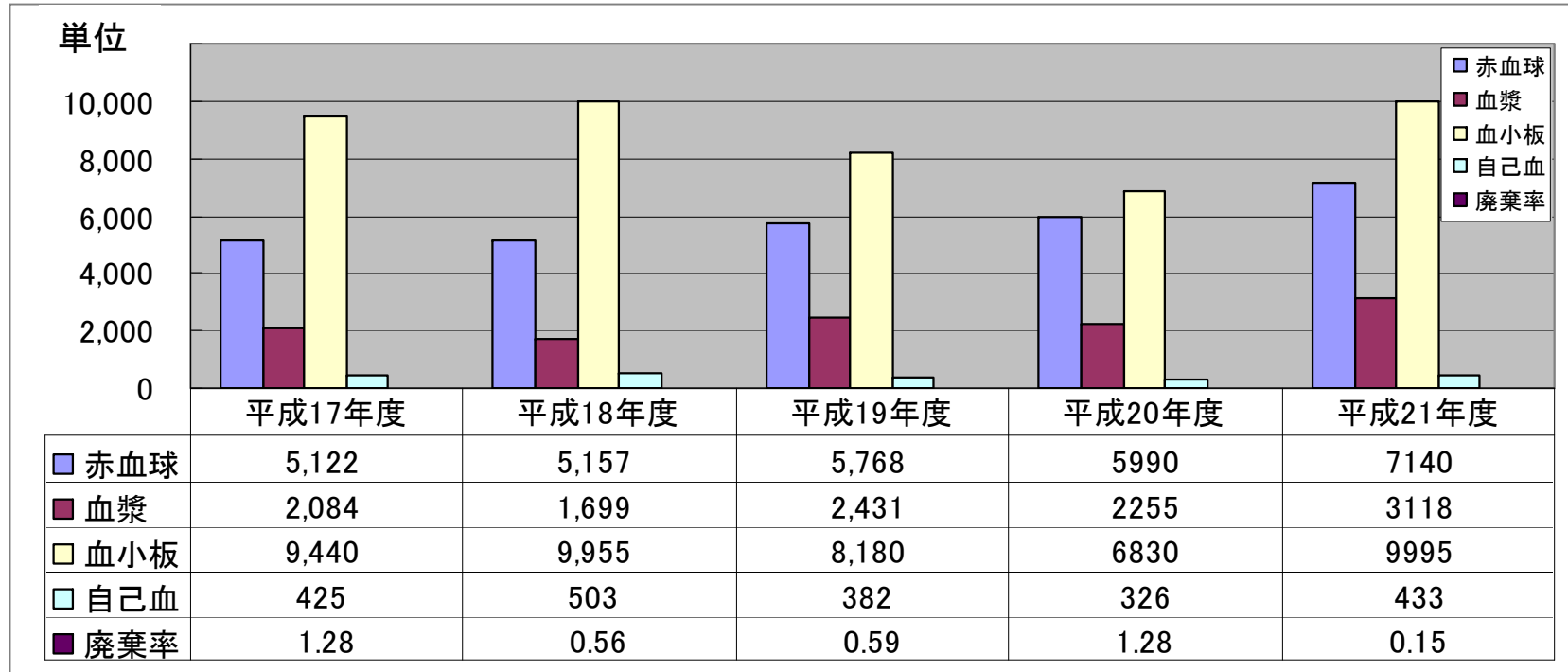


血液製剤使用数・廃棄率の推移

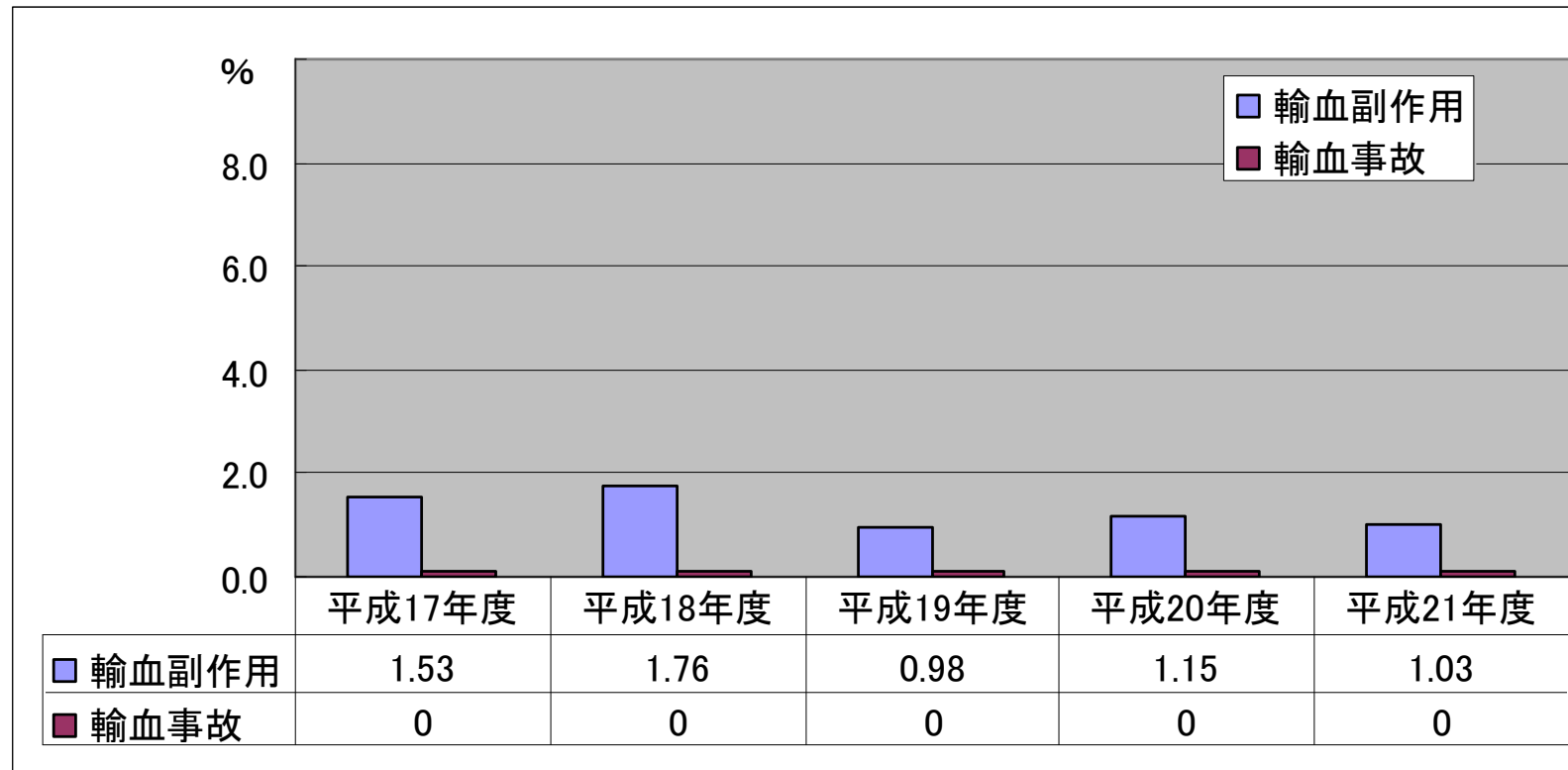
所属:輸血部



- ・ 赤血球製剤、血漿製剤、血小板製剤の使用数はやや増加傾向にある。
- ・ 自己血輸血は泌尿器科、脳外科で多く、平成21年度増加に転じた。
- ・ 血液製剤の廃棄率は目標の3%を大きく下回り、1%以下に抑えられている。

輸血副作用・輸血事故発生頻度の推移

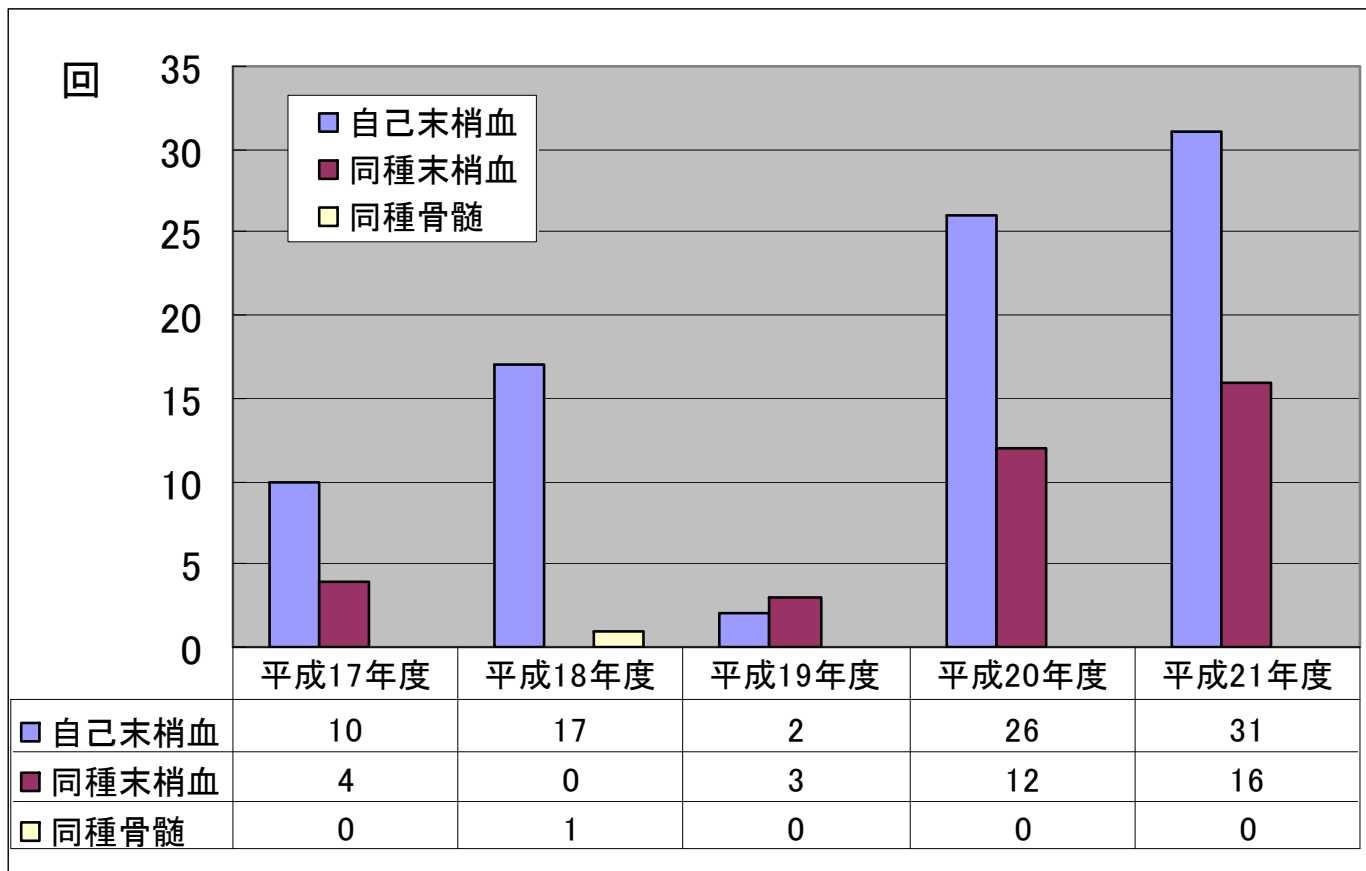
所属:輸血部



- ・ 発熱、じんま疹等の輸血副作用の発生頻度は約1%と他施設と同程度である。
近年は血液製剤からの白血球除去によりさらに減少する傾向にある。
- ・ 血液型間違いや患者取り違い等による輸血事故は起こっていない。

造血幹細胞採取数の推移

所属:輸血部



- ・ 造血幹細胞移植は増加しており、骨髄移植より末梢血幹細胞移植が多くなっている。
- ・ 自己だけでなく同種(ほとんどが血縁者)からの移植も増加している。